

1. 対象部材

屋外用よこ引きストレーナーキャップ
(排水溜め部なし)

略称：CjK ストレーナーキャップ

2. 標準(共通)化の部位

標準(共通)化の部位を図1に示す。

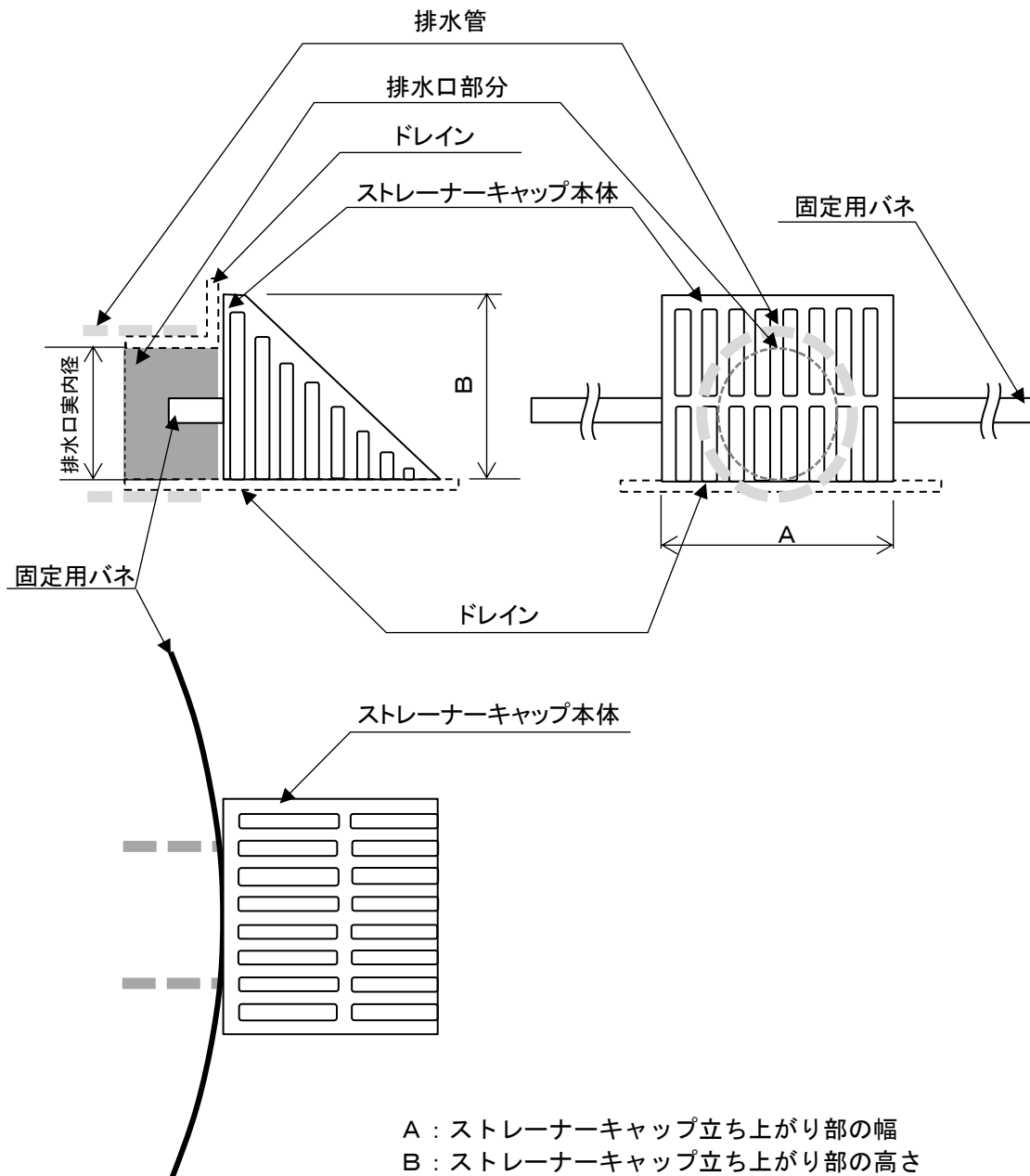


図1 - 標準(共通)化の部位

3. 寸法・形状

各部位の寸法を表1に示す。

表1－各部位の寸法

単位：mm

項目	①	②
	$51 \leq \text{排水口実内径} \leq 67$	$67 < \text{排水口実内径} \leq 77$
A：ストレーナーキャップ立ち上がり部の幅	≥ 77	≥ 87
B：ストレーナーキャップ立ち上がり部の高さ	≥ 67	≥ 77

4. 表示方法

部材・印刷物・電子媒体などに、長期使用対応部材であることを表示する。
または、“CjK”マークを表示する。

5. 特記事項

5.1 関連部材の具備すべき条件

- ・ストレーナーキャップが取り付けられる排水口の形状は円形とし、その内径は、51mmから77mmを前提とする。
これは、ドレインに接続される排水管としてVU管（VU50～VU65）、並びにVP管（VP50～VP75）を使用することを前提としていることによる。
- ・排水口の方向は水平方向を前提とした。
- ・排水口内法底面は、パルコニー等の床面もしくは排水溝等の底面より上方に位置しない納まりとする。

5.2 ストレーナーキャップの形状

- ・ストレーナーキャップの形状は定めない。
ストレーナーキャップの形状は、平型・L型・傾斜型に大別されるが本基準書は、いずれの形状にも適用する。

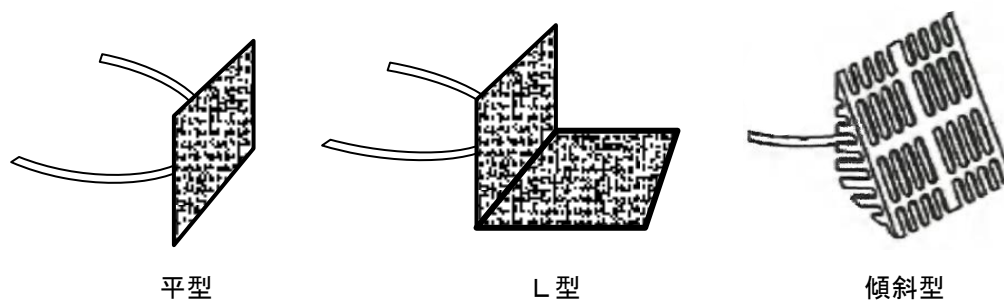


図2－ストレーナーキャップの形状分類

5.3 ストレーナーキャップの固定

- ・ ストレーナーキャップの固定はバネによるものとする。
- ・ ストレーナーキャップは排水口の開口を覆うように取付し、ずれないように配慮する。
- ・ 固定バネは、ストレーナーキャップが排水口を確実に覆う位置に取り付けられるように位置調整ができるものが望ましい。
- ・ バネの形状・本数・固定位置はこれを定めないが、強風による飛散等が生じない程度の保持力を有するものとするのが望ましい。
- ・ 固定用バネが排水管に干渉する場合は、バネを適宜切断し取り付けることを前提とした。その場合のバネの残存寸法は、ストレーナーキャップががたつかない程度とする。

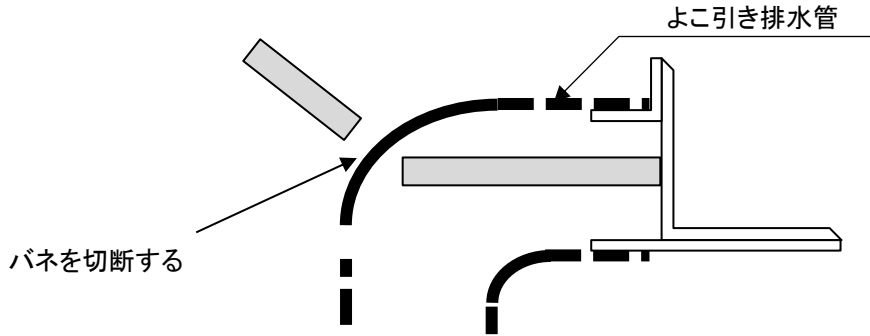


図3－固定バネの加工

5.4 ストレーナーキャップの選択

ストレーナーキャップが、平場と立ち上がり部分両方に掛かる場合、両面の構成する角度によって取り付け可否があるため、ストレーナーキャップの形状の選択に当たっては現場の納まりを確認する。

6. 解説

- ・ 本基準書が対象とするストレーナーキャップは、排水溜め部の無いドレインに取り付けることを前提とした。ここで言う排水溜め部とは、ストレーナーキャップを取り付けるドレイン等に設けられた凹みをいい、そのイメージを図4に示す。

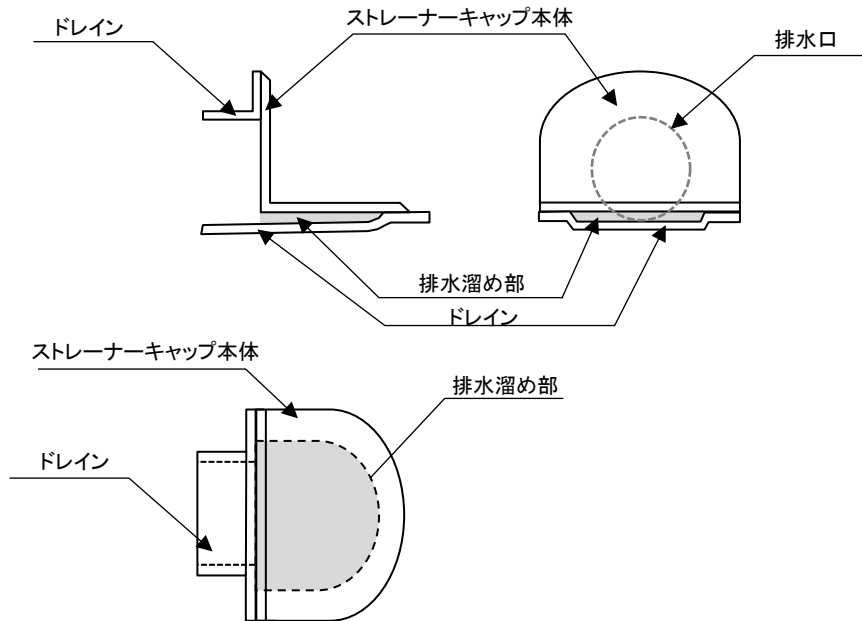


図4－排水溜め部のイメージ

- ・ストレーナーキャップの寸法は、排水口にはまり込まない程度の寸法とした。
その程度は、排水口を中心とする水平線上において、排水口内面からストレーナーキャップ外周の端空き寸法（x及びy等）合計の最小値が10mm以上となることとした。

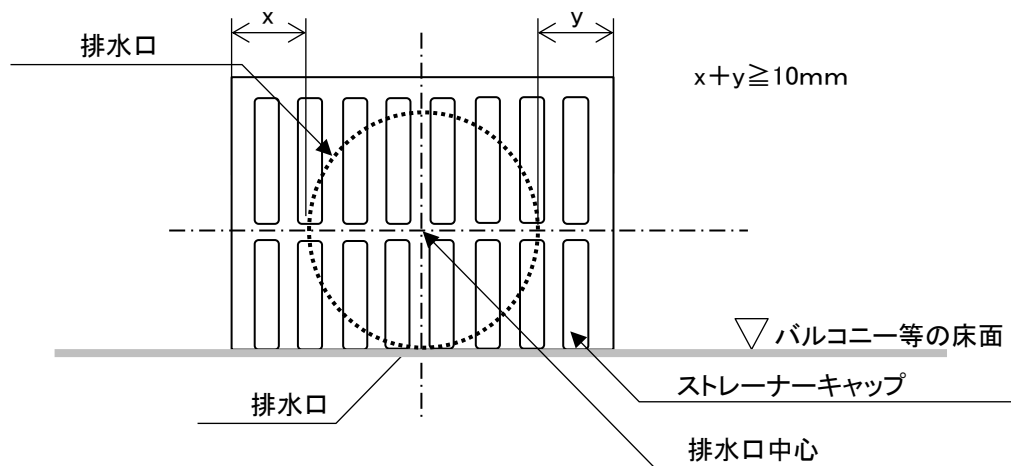


図5－ストレーナーキャップの形状例

- ・ずれが生じ得ない配置（他部材と接する場合等）となる場合は、端空き寸法は不要とする。
- ・ストレーナーキャップ下端は、バルコニー等の床面と接することとする。

7. 共通事項

7.1 寸法について

寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。

7.2 交換について

交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。

注記) 専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。